

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No137

<新著の紹介>

## ビーイング(存在)から学びを捉える!

—河口竜行・法貴孝哲・木村剛先生、安修平氏に新著インタビュー

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。  
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

## 新著の紹介



河口竜行・木村剛・法貴孝哲・皆川雅樹・米元洋次（編）  
（2022）. シリーズ 学びとビーイングー1. いま授業とは、  
学校とは何かを考える りょうゆう出版

### <対談者>

- 河口竜行（渋谷教育学園渋谷中学高等学校 教諭（国語））
- 法貴孝哲（清真学園高等学校・中学校 教諭（数学））
- 木村 剛（静岡雙葉中学校・高等学校 教諭（理科・生物））
- 安 修平（合同会社りょうゆう出版 代表社員）



安 修平



河口竜行



法貴孝哲



木村 剛

これからの続編！



第2巻 授業づくり、授業デザインとの対話

第3巻 学校内の場づくり、外とつながる場づくり(仮)

第4巻 学び続ける教師のあり方(Being)とは(仮)

## 議論のポイント

- ビーイング（存在）とは何で、学びとどのように関連するのですか？
- 本書で紹介した実践を「学びとビーイング」の観点から説明してください。

それではご覧ください